

うおーみんぐ

NO.16 春

京都府地球温暖化防止
活動推進センター通信

地球温暖化問題に取り組む人のための通信です。

実践活動への意欲を、アイデアを、仲間同士の関係を、ホットに温めます！

STOP! GLOBAL WARMING
LET'S WARM UP OUR ACTION



環境省が主催する
「ストップ温暖化
『一村一品』大作戦
全国大会 2008」
で北桑田高校が優
勝しました

（写真）

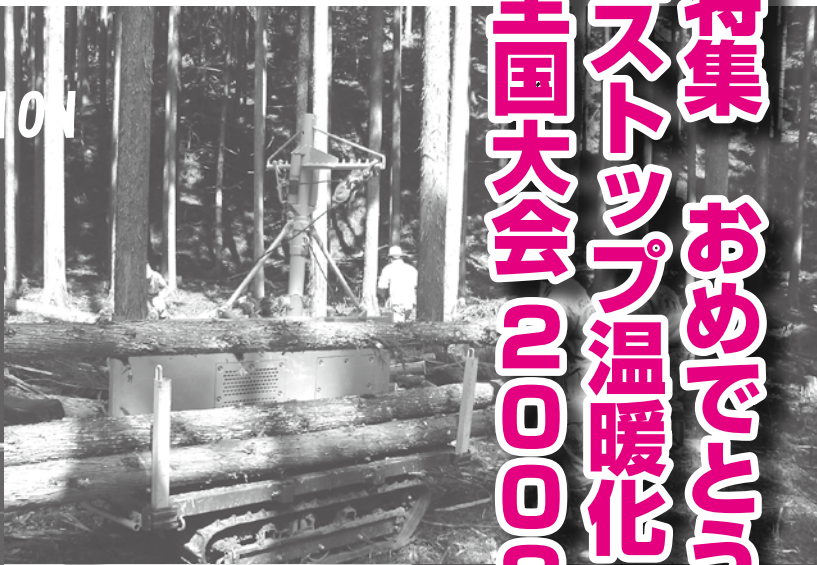
左上：全国大会での発表

右上：学校の森での伐採・運搬作業

左下：J-pod工法でのモデルハウス建築

右下：最優秀賞受賞記念撮影

京都府地球温暖化防止活動推進センター
Kyoto Center for Climate Actions



特集 おめでとぅー！北桑田高校
「ストップ温暖化『一村一品』大作戦
全国大会 2008」最優秀賞！！

温暖化防止に取り組む「まちの電気屋さん」の
コンテストを行いました！

～「STOP 温暖化・省エネ家電普及コンテスト」報告～

「御蔵山・日野地域電車バスお出かけマップ」を
作成配布しました！

活動レポート

イベントやセミナーで活用できる掛け軸型
展示を作成しました

ごあいさつ

京都府地球温暖化防止活動推進センターは、府内の温暖化防止活動を様々な面からサポートし、一層活性化させることを目的に活動するセンターです。平成 15 年 10 月 10 日、府内の多様な団体が連携し新たに立ち上げた NPO 法人 京都地球温暖化防止府民会議が京都府知事からセンターとしての指定を受け、その活動を開始しました。

京都府地球温暖化防止活動推進センターの活動は、国、京都府、府内の多様な団体、会員の皆様などのご支援によって支えられています。

特集

おめでとう！
北桑田高校

「ストップ温暖化『一村一品』
大作戦 全国大会 2008」
最優秀賞！！

「ストップ温暖化『一村一品』
大作戦 全国大会 2008」
2008年2月9・10日開催
会場：丸ビル（東京都千代田区）

今号の巻頭特集は、おめでとう！北桑田高校「ストップ温暖化『一村一品』大作戦 全国大会 2008」最優秀賞！！です。東京で開催された全国大会の概要、受賞団体の取り組み内容、そしてこの全国大会に関わった様々な方のコメントをご紹介します。

他府県の取り組みにも注目！

ちなみに、金賞には山梨県代表 都留市の「回れ！家中川小水力市民発電所「元気くん1号」」、銀賞には富山県代表 富山市の「富山港線のLRT化による公共交通活性化の取り組み」、銅賞には北海道代表 沼田町の「雪冷熱を地域資源として～輝け雪のまち、沼田町の取り組み～」が選ばれました。

詳しくは全国大会のサイトに紹介されていますのでご覧ください。

<http://www.jccca.org/daisakusen/>

昨年12月に開催された京都の温暖化対策コンテスト「きょうとECO-1(エコワン)グランプリ」を制した京都府立北桑田高校森林リサーチ科が、今年2月、このコンテストの全国大会となる「ストップ温暖化『一村一品』大作戦 全国大会 2008」(環境省主催)に京都府代表として出場しました。

木材の地産地消の取り組みに「ウッドマイレージ」という環境指標を組み込み、地域や大学、行政と連携しながら温暖化防止と地域森林の保全に取り組んでいる同校の事例は、審査委員のみなさんに高く評価していただき、各都道府県の選考を勝ち抜いてきた素晴らしい事例が集まる中、何と、最も栄えある最優秀賞を受賞することができました！

おめでとう、北桑田高校！！



最優秀賞受賞記念写真

今回の受賞は、ウッドマイレージという環境指標の意義、ウッドマイレージCO₂認証制度に代表される京都における木材の地産地消の取り組みなども含めて評価していただいた結果の受賞だと思います。今後はこの「ウッドマイレージ」の取り組みをさらに広げるために当センターとしても尽力したいと思います。



京都らしさをアピールした衣装で登場



京大が開発したJ-podシステムで、間伐材を有効利用したモデルハウスを試しました



山梨県代表による発表の様子

都留市の職員さんが、武田信玄などに扮し「動かさる山から湧き出した水を利用した」小水力発電で市役所の電力をまかなっていることをPR

全国大会最優秀賞受賞に対するコメント



comment:

鴨下一郎環境大臣

今回の 47 都道府県の取り組みはすべて優れた作品でした。一村一品からはじまり、取り組みを日本中に広げ、すべての地域に活用していただく思いが秘められていたと思います。

今年は、京都議定書の第一約束期間に入り、この 5 年間のうちに、京都議定書で約束したマイナス 6 % の実現をめざす大変重要な時期です。

7 月に洞爺湖で G8 サミットも行われ、地球温暖化問題は非常に大きなテーマです。みなさんの取り組みを今度は環境省が参考にさせていただいて、政策の中に取り入れていくとともに、皆さんのアイデアを日本中に広げて、それを全体の総合力としてやっていけば低炭素社会を実現していけるのであらうと感じました。

(全国大会閉会のあいさつより)



comment:

中島誠之介審査委員長
(古美術鑑定家)

若々しい大工さんが舞台いっぱい活躍してくださり非常にエネルギッシュでした。京都の主な産業である北山地域を中心とする林業。これはまさに地域で生まれ地域で消費する、地産地消の一番代表的な典型ではないかと思います。

産業と行政とそして教育の見事な一致。それが京都のこの活動になって現れたのでしょう。

京都議定書、これは世界中が知っている言葉。その名に恥ずかしくない業績をみなさんが挙げられて、これをさらに今度は全国に広め、さらに世界に発信していただく礎になると確信しております。おめでとうございます。

(北桑田高校の最優秀賞受賞時のコメントより)



comment:

江口武さん
(北桑田高校森林リサーチ科 3 年)

京都議定書発信地である京都府代表として、応援してくださる皆さんの期待に応えようと、精一杯頑張ってきました。結果発表のとき最後まで呼ばれなかったので、入賞できなかったらどうしようと思い、とても緊張しました。

最優秀賞の紹介で私たちが呼ばれたときは、まだ信じられませんでした。鴨下環境大臣と握手したとき最高の充実感がこみ上げてきました。高校生でもここまでやれることが証明できてとても感動しました。卒業後も地球環境に優しい社会を築けるよう頑張りたいと思います。

(ストップ温暖化「一村一品」大作戦「すいマガ」編集部発行メールマガジンより)



comment:

原田真白先生
(同校森林リサーチ科指導担当教諭)

本校森林リサーチ科は、発足以来一貫して「地元の木を使おう」と社会に働きかけてきました。数年前より温暖化防止の気運が高まってきた波に乗り、別の視点からも地元産木材の PR を始めました。このことが高く評価され、本校を支援してくださる皆様の想いを結集し、今回受賞できたことは大変うれしく思います。「ストップ温暖化」がテーマの大会なので、CO₂ 排出削減を強調した発表になりましたが、本当に言いたいことは別にあります。

そもそも温暖化の原因の一つは、先人達が子どもの幸せを願い築き上げてきた地域社会の産業・文化・生活をないがしろにし、経済や利便性優先の社会構造になってしまったことだと思います。森の国、世界に誇れる木の文化を持つ日本の木材自給率が 2 割を下回っていることは異常事態です。手間暇を惜しまず、気候風土を生かし、自然の恵みに感謝できる真に豊かな生活を京都議定書をきっかけに見直して欲しいと思います。この大会で発表された全ての活動には、そんな願いが随所に込められ意義深いものでした。(同メールマガジンより)



comment:

藤原敬氏
(ウッドマイルズ研究会
代表運営委員)

北桑田高校のみなさん！ 京都府温暖化防止センターのみなさん！ 京都府民の皆さん！「ストップ温暖化『一村一品』大作戦全国大会」最優秀賞受賞おめでとうございます。

1200 年の伝統の北山林業だそうですが、伝統というのは新しいことがたくさん付け加えられた蓄積なのだと思います。その伝統の上に、皆さん方の手によってウッドマイルージが付け加えられて、ウッドマイルズ研究会でもよろこんでいます。

全国で地元の木を使う動きが産地の側から広がっていますが、ウッドマイルズ・ウッドマイルージ CO₂ はその動きを消費者側に広げる大切なキーワードです。また、木材の家に住みたいという人たちに、林業のことを知ってもらうきっかけでもあります。温暖化対策の関心は広がってきていますが、今がほんの出発点の循環社会を目指す息の長い取り組みです。未来を担う高校生、そして森林リサーチ科の高校生がグランプリを獲得したことは、明るい将来への力強いメッセージですし、循環社会における木材の将来にとっても素晴らしいことです。ますますの発展をお祈りします。

温暖化防止に取り組む「まちの電気屋さん」のコンテストを行いました！

(平成 19 年度環境省委託事業)

～「STOP 温暖化・省エネ家電普及コンテスト」報告～

当 センターでは、京都府地球温暖化対策条例に基づいて、2005 年から毎年、京都府内の家電店の店員さんを対象に「省エネマイスター研修」を行っており、これまでに 400 人以上の省エネマイスターが誕生しました。

「省 エネマイスター」の認定を受けた家電店による、創意工夫を凝らした省エネ家電の普及例や、買った後の家電の使い方の工夫や、消費者の省エネについてのアドバイス、また地域ぐるみでの省エネ活動への参加など、より実質的に家庭での省エネを促すために取り組まれている事例を広く紹介したい、との思いで、「STOP 温暖化・省エネ家電普及コンテスト」を、京都府電機商業組合の協力を得て実施しました。以下では、受賞した 5 つの電気屋さんによるユニークな取り組みを紹介します。



受賞記念の盾を手に記念撮影

審査員の方々

下村委津子さん(環境市民)／田浦健朗さん(気候ネットワーク)／西村正人さん(村田製作所)
奥谷三穂さん(京都府)／伊東真吾(当センター事務局)

大賞／マキノデンキ(宇治市)

マキノデンキは松下電器の系列店です。昨年春に、松下が自社ブランドの扇風機の生産・販売を終了することを検討しているとの情報が流れました。「扇風機は何より省エネな家電製品なのに、それを『ナショナル』ブランドで売ることができなくなるなんてもったいない」と考えた牧野社長は、地域の顧客を対象に、ナショナル扇風機のさよならキャンペーンをはじめました。店独自の 10 年保証サービスを定め、そのための修理交換部品も確保しました。

地域のお宅を店員が一軒一軒まわって、扇風機の購入を PR したところ、「エアコンは部屋毎にあ

「扇風機普及キャンペーン&エコキュートの省エネ使用の普及」

るけど、扇風機が 1 台しかない。2 階にもう 1 台欲しいので買おう」「エアコンと併用すると、設定温度が高くても快適で省エネだと聞いた」など、反応が良く、2 ヶ月間で 412 台(マキノデンキ 3 店合計)を販売でき、大きな成果があげられました。こうした取り組み結果を PR したところ、松下電器では、2008 年以降も扇風機をラインアップに残すことになったそうです。

エコキュート(ヒートポンプ式蓄熱型電気給湯器)については、過去にエコキュートをマキノデンキから購入・設置した家庭 100 軒を、松下電器の技術者と一緒に訪問し、運転状況や設置状況を確認しました。

エコキュートはお湯の使い方に

合った運転モードをきめ細かく設定することで、省エネや電気代の節約を図れます。室内に設置されているモニター画面を見ながら、過去の使用湯量や消費電力量をチェックし、運転モードの設定をチューニングしました。

また、ある家庭では、室外機の近くに犬小屋があり、室外機に犬の毛が大量に付着していました。これはエネルギー効率の悪化を招いているので、室外機の犬の毛を全て抜き取りました。



エコキュートの設定画面

優秀賞／ ゴトウ電機 (宮津市)

「省エネ商品販売キャンペーン」

ゴトウ電機の後藤社長は、2003年～2006年まで京都府電機商業組合宮津支部長として、省エネラベルの普及に精力的に地域ぐるみで取り組みました。また現在も地球温暖化防止活動推進員として活動しています。

店の中のみならず、店外での営業活動にも、販売する商品の省エネラベルを打ち出して持参して説明し、また常時電球型蛍光灯のストックを営業車の中に確保するなどの取り組みで、2007年は、エアコン・冷蔵庫の省エネトップクラスの売上比

率が8割近くに達しました。



ゴトウ電機の営業車

総合的な省エネ店舗賞 ／エース電化センター (京都市)

エース電化センターは、省エネラベルや店内パネル、チラシなどを通じて省エネ家電の普及を熱心に推進され、2006年度、2007年度と2年続けて(財)省エネルギーセンターが認定する「省エネ型製品普及推進優良店」に選ばれました。藤江社長は、自店の取り組みの成果を様々な場で紹介されており、全国各地に取り組みが広がっています。



エアコンの店内陳列

省エネ機器普及賞 ／よこいでんき (久御山町)

「家庭の電気代診断します」のチラシを店舗で作成・配布して、上得意さん50軒近くを戸別訪問し、省エネの提案を通じて、最新型のアコン16台、またLED照明器具を販売しました。「自分から買替えませんかとは決して言わない。話の流れで、お客さんから、『買替えたらいくら?』と

聞いてもらう方向に持って行くことがコツ」との極意を教えてくださいました。



よこいでんきのチラシ

技能賞・地域賞 マツミデンキ (京丹後市)

マツミデンキは京丹後市網野町の地域特性をいかして、虫の寄りつきにくく省エネなLED屋外照明を提案したり、暖房器具として薪ストーブの販売・設置を手がけたりしています。また、地域のグループと一緒に小水力発電装置を作成して実演する等の自然エネルギー普及活動にも熱心で、今後の丹後地域の自然エネルギー導入計画にも中心的な役割を担って頂けそうです。



「風のがっこう・京都」の近くに設置された小水力発電装置



当センターでは、「STOP 温暖化・省エネ家電普及コンテスト」の内容をまとめた冊子を作成しました。ご希望の方はお問い合わせ下さい。

「御蔵山・日野地域電車バスお出かけマップ」を作成配布しました！

昨 年度、六地蔵地域で実験的に作成した「電車バスお出かけマップ」を元にして、今年度は、「宇治子育てを楽しむ会」（「宇治子育てマップ」作成など子育て支援の活動を様々に展開されている団体）の協力を得て、子育て世代の主婦の方々のワークショップ・グループインタビューを通じた、電車バスマップづくりを行いました。

普 段どんなところに、どんな交通手段で出かけているのか、バスや電車に乗りづらいとしたら理由は何か、時刻表や地図

はどんなサイズで、どんな形式だと使いやすいか、子ども連れで電車バスに乗るときにどんな情報が欲しいか、といった観点から地図づくりの議論を行い、今年1月にマップが完成。御蔵山・日野地域にお住まいの方々に配布されました。取り組みの様子は京都新聞や洛南タイムズ、城南新報に複数回掲載され、反響がありました。



お出かけマップ（時刻表）

便 利に使える公共交通機関は、いくら温暖化防止のために利用を呼びかけても、実際には利用されず、衰退して、移動の選択肢として意味をなさなくなってしまいます。公共交通機関や自転車などの乗りものを便利に快適に利用するための、マップなどを通じた情報提供は、自治体やNPOなどの地域の主体の役割ではないでしょうか。

こ れまで京都府や自治体と連携して、住民向けの電車バスマップ提供の取り組みを行ってきましたが、これを、より地域住民主体の取り組みに落とし込んでいきたいと考えています。また、今後は、単にマップをつくるだけでなく、バス停などを住民の視点からより利用しやすいものにしていくための活動に関わっていききたいと考えています。来年度は、更に複数の地域で取組を計画中です。関心のある方はセンターまでお問い合わせください。



お出かけマップ（地図）

今回の電車バスマップづくりで全面的にご協力いただいた「宇治・子育てを楽しむ会」代表の迫きよみさんに寄稿していただきました。

昨 年の7月、自宅のポストに「温暖化防止センター」というところから一通の封筒が届いていました。「なんだろう？」と思いながらあけてみると「バスマップをつくるにあたっての協力をお願い」と書いてありました。とりあえず電話をかけてみますと、私たちが作った「宇治の子育てマップ」をみられて、「自分たちは地図には強い。地球温暖化のことにも取り組んでいる。だけど、迫さんたちのような視点がほしい」といってくださったのです。

私 たちが作ったマップは、ある一人の赤ちゃんを育てている方の言葉から生まれました。「子育てを楽しむ会で行っている、『手作りのだっこひも教室』に行きたいけど、車もない。バスもどこからどうでているのかもわからない。調べにもいけない」という叫びにも似たお話からでした。「そうか、どんなにいろんな支援をしても、そこに出てくる経路が整っていなかったら無理なんだ」そう

思った私たちは、センターが作っていた宇治のバスの路線図を基本にした、お出かけしたくなるようなマップを作ったのです。

い ろいろな作業を一緒にさせていただくうちに、「車は便利だ。だけど、個人個人の便利さを追求する中で、公共の交通機関が使われなくなる。そうしたら、車に乗れる人、乗れない人で、本当に差が出てしまう。公共の交通機関をみんなが利用すると、交通の弱者もなくなり、地球の温暖化の防止にもつながる。」という、当たり前のことに気付かされました。という私も、いつも、おもちゃや保育グッズや、たくさんの資料と一緒に移動しているので、なかなか車は手放せません。だけど、天気がよくて、時間に少し余裕があるときは、自転車で動くことにしました。また、何か一緒にお仕事ができたらうれしいです。その時はよろしく！

●推進員研修会の最終回を終えました

2月23、24日の2日間にわたり、2007年度最後の推進員研修会を行いました。気候ネットワークの川阪氏から、最新の国際交渉事情について、また、ひのでやエコライフ研究所の鈴木氏から省エネについて具体的な数値を示しながらお話いただきました。鈴木氏のお話の中では、人に省エネをお勧めする際のポイントとして、人に納得してもらうには、自らの実感や納得が欠かせないことを、実演を通して教えていただきました。

●省エネ相談所を各地で開催しました

亀岡・宇治・福知山・京丹後など各地で「脱温暖化行動キャンペーン2008」の一環として、地域の推進員さん達と協働して「家庭の省エネ相談所」を公共施設、スーパーなどをお借りして開催しました。計300人近くの来場者の省エネ相談を実施する事ができました。現在、省エネ相談の温暖化防止効果を計測中です。

●みどりのカーテン育成ガイドブックを改定しました

この度、ご好評をいただいております「みどりのカーテン育成ガイドブック」を、新たなる情報を盛り込んで、改定しました。改訂版には、水の節約方法や土の入れ替えなどの情報、みどりのカーテンを使った環境教育アイデアなどを掲載しています。ぜひ、改訂版の冊子を参考に、みどりのカーテンにチャレンジしてみてください。

●環境教育交流会の報告

3月8日(土)に、長岡京市バンビオにて環境教育交流会を開催しました。(主催:京都環きょうみらい会議・京都府センター) 交流会の前半では、「ストップ温暖化『一村一品』大作戦全国大会2008」で最優秀賞に輝いた北桑田高校より、北桑田高校の教育内容やウッドマイレージについてお話いただきました。後半では、乙訓地域の小学校より、京都環きょうみらい会議で新たに作成された教材を用いての事例報告をしていただきました。

●太陽熱利用セミナーを実施し、冊子を作成しました

2月16日にセミナー「太陽熱を利用した住宅で快適エコライフ ～太陽熱温水器の最新事情～」を開催しました。メーカー2社より、太陽熱を活用した床暖房の事例などをご紹介いただきました。また、東京都より、太陽熱利用拡大に向けた計画を紹介していただきました。なお、これにあわせ、太陽熱利用機器の種類や値段、Q&A、アンケート調査結果などを盛り込んだ冊子「ストップ温暖化! 見直そう、太陽熱利用」を作成しました。(Webサイトからダウンロード可能。冊子自体の入手をご希望の方は事務局まで。)

●エコ貯終了のお知らせと報告

「きょうとエコ貯」が3月末をもって終了いたします。きょうとエコ貯の参加者は計1,374名にものぼり、結果、参加者の省エネにより削減できたCO₂量は8190.12kgになりました。また、省エネ実施報告数は14,262回、クーポン発行数278回、3月25日時点のクーポン発行ポイント数は28,568ポイントとなりました。ご協力いただきました店舗の皆様、参加者の皆様ありがとうございました。

●親子温暖化教室報告

京都府内各地で、保育園児や小学生、中学生、そしてその保護者を対象に温暖化防止の学習会を実施しました。今年度の実施回数は30回、計1,644名の参加者となりました。また、実施にあたっては、地域の推進員さんにご参加いただき、ワットチェッカーを使った電力測定のアドバイスや、身近に出来る省エネの工夫についての紹介をしていただきました。

イベントやセミナーで活用できる 掛け軸型展示を作成しました



この度、京都府センターでは、新しい展示ツールを作成しました。

今までの展示パネルとは一味違う、なんと、くるくる巻いて持ち運びできる巨大な掛け軸型の展示パネルです。縦 160cm、幅 80cm で付属の紐をフックに引っ掛けて展示します。

(↓) 以下、パネルの内容です

【京都に現れた温暖化の影響】

- (1) 気温はすでに上がり始めている！今後はさらに上る！
- (2) 京都はすでに 60 年前の鹿児島と同じ気温に！
- (3) 秋なのに桜が！春の桜の時期もどんどん早く！
- (4) 紅葉の時期が遅くなり、色づきも悪くなっている！
- (5) もともとは京都になかった毒キノコが！
- (6) 減少するブリ、増加するサワラ。南方系の魚類も！
- (7) 全国的に心配される米の品質低下。対策を実施中！

【家庭の省エネクイズ】

- (1) 夏と冬、家庭で多くの二酸化炭素を出すのはどっち？
- (2) シャワーはテレビ何台分？
- (3) ポットの保温、どれくらいの電気を使う？
- (4) 冬の暖房、どれが省エネ？

省エネクイズは問題と答えで 4 セット 8 枚組みです



家庭の省エネクイズ

吊るすとこんなに
大きいんです



京都に現れた温暖化の影響

他にも、今年度は、自然エネルギーや冬にできる省エネ、木の家づくりなどに関する新しいパネルを作成しましたのでぜひご活用下さい。詳しくは当センターの web サイトの「貸出できる教材・機器」をご覧ください。

ごあいさつ

職員の永野が退職する事となりました

毎回「うぉーみんぐ」でもお伝えしている通り、京都府温暖化防止センターでは様々な事業に取り組んでいて、センタースタッフのみんなと一緒にいるうちに、あっという間に過ぎてしまった 2 年間でした。お世話になり、どうもありがとうございました。地球温暖化防止活動に関わる皆様のますますのご活躍とご発展をお祈りしています。(永野恵子)

ご報告

職員の竹花が育児休暇に入りました

3 月のはじめに、職員の竹花に子どもが生まれました。そのため、2008 年度は、育児休暇をいただきます。2009 年 4 月より復帰する予定です。

京都府地球温暖化防止活動推進センター通信「うぉーみんぐ」

(平成 20 年春号 平成 20 年 3 月発行 (年 4 回発行))

発行：京都府地球温暖化防止活動推進センター

(特定非営利活動法人 京都地球温暖化防止府民会議)

理事長：郡嶋 孝 運営委員長：浅岡 美恵

〒604-0965 京都市中京区柳馬場通二条上る六丁目 283 番 4

TEL：075-211-8895 FAX：075-211-8896

URL：http://www.kcfca.or.jp E-mail：center@kcfca.or.jp

編集：伊東 真吾 木原 浩貴 竹花由紀子 永野 恵子 瀬上 佑樹 吉川 春菜

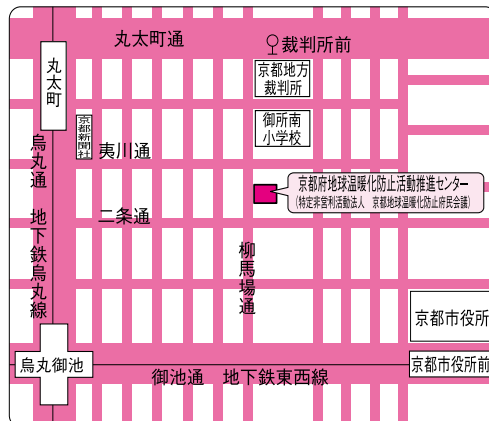
法人の活動を支えてくださる会員を募集しています！

年会費 正会員 (個人)：2,000 円 正会員 (団体)：3,000 円

準会員 (個人)：2,000 円 準会員 (団体)：3,000 円

賛助会員：10,000 円 (会費は平成 20 年度からの金額)

詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。



この印刷物は、古紙配合率 100% の再生紙に、大豆インキで、風力発電による自然エネルギーを使って印刷しています。

